日合商時報

No. 755
2022 年
4 月

Japan Plywood Wholesalers Association https://www.nichigosho.net/
発行所：日本合板商業組合　〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町 3-5-4　TEL 03（5256）9080　e-mail：jpwa@oboe.ocn.ne.jp

日合商の基本は『協調と連帯』

日合商は昭和 52（1977）年に合板・建材を扱う流通業界の活性化と、関係官庁に意見書が提出できる組織として発足した歴史ある組織であり、業界唯一の国の認可団体です。その「会勢強化」は、業界の活性化につながるものです。また、新規会員・賛助会員の数が増えることで関係官庁への発言力も増し、社会的な影響力も拡大していくものと考えています。

2022 年 3 月 29 日（火）13：30 ～ 14：30　会場出席による

日合商 2021 年度 第三回理事会を開催しました

出席理事数 50 名（会場出席 26 名、書面出席 24 名）　出席監事数 6 名（会場出席 2 名、書面出席 4 名）

足立建一郎理事長、小川明範副理事長、石本勝範副理事長ら本部役員はじめ、北海道・東北・北関東・東京・神奈川・中部日本・関西・中国・四国・九州・沖縄の各支部から理事・監事合わせて 28 名が、千代田区の LEVEL XXI（Twenty-One）東京會舘に集まり、開催されました。

コロナ禍が続く中ではあるものの約 2 年半ぶりに対面で開催できた喜びと感謝の思いを込めた足立建一郎理事長の開会挨拶の後、理事長が議長となって第一号議案から第四号議案まで審議が行われ、全議案とも可決承認されました。つづいて報告事項 1. 要望（陳情）について事務局が報告。議長から事務局に、その他議案について提案がないことを確認して審議を終了し、閉会しました。

小川明範副理事長、石本勝範副理事長ら本部役員と理事・監事が一堂に会し、足立建一郎理事長が開会の挨拶

第 43 回通常総会の主管として準備に当たる中国支部 三島英揮支部長が、福山開催の概要と、各支部に向けてより多くの参加を呼びかけました

第 44 回通常総会の主管となる四国支部 村上髙志支部長から概要の説明がありました

2022 年 3 月 29 日（火）14：45 ～ 16：15　会場出席による

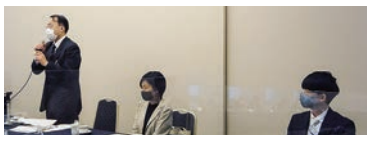
2021 年度第二回合板需給懇談会を開催しました

日合商 2021 年度第三回理事会終了後の同会場において、生販の情報交換の場として第二回合板需給懇談会が開催されました。

会場には農林水産省林野庁林政部木材産業課から課長 齋藤健一氏はじめ 3 名ご陪席のもと、日本合板工業組合連合会から井上篤博会長、野田四郎副会長、中西宏一理事、大和田康司副会長代理、似内向理事代理、上田浩史専務理事ら 6 名、日合商から足立建一郎理事長、小川明範副理事長、石本勝範副理事長、全国各地の支部から理事・監事ら 26 名が出席しました。

懇談会に先立ち、林野庁の齋藤課長よりロシアのウクライナ侵攻への経済制裁に対するロシアからの丸太・製材品の輸出禁止措置によって今後の合板業界が被ると予想される影響等を含む、ロシアからの木材輸入動向などについて、説明いただきました。

合板供給逼迫が常態化していることに加えてロシア産木材の流通動向も懸念される中で開催された懇談会では、日本合板工業組合連合 井上篤博会長はじめ出席の各役員から、素材の不足・入手困難を克服しながらフル稼働に努めている等の説明がありました。また日合商の出席役員からは、合板入手が困難な状況が継続して現場が動かない事態に陥っており、一層の安定供給を望む声が多く出ました。さらに国の林業施策に関して、変化の激しい世界情勢を背景に長引く木材・合板不足を解消するための現実的な国産材活用に迅速に本腰を入れてもらいたいとの要望も出されました。



農林水産省林野庁林政部 木材産業課課長 齋藤健一氏はじめ 3 名ご陪席のもと開催

日本合板商業組合 足立建一郎理事長挨拶

日本合板工業組合連合会 井上篤博会長ご挨拶

日本合板工業組合連合会から井上篤博会長、野田四郎副会長、中西宏一理事、大和田康司副会長代理、似内向理事代理、上田浩史専務理事が出席

※林野庁から頂きました会議資料「ロシアからの木材輸入動向などについて」は、日合商 ホームページの新着情報・トピックスの 3 月 30 日に掲載しています。

第 43 回通常総会 in FUKUYAMA ご案内

2022 年 5 月 18 日（水）～ 19 日（木）

【第 43 回通常総会】5 月 18 日（水）

会場：福山ニューキャッスルホテル　TEL084-922-2121
〒 720-0066 広島県福山市三之丸町 8-16

- 理事会受付　12：00 ～
- 理事会　13：00 ～
- 総会受付　13：00 ～
- 総　会　14：00 ～ 15：30
- 講演会　15：45 ～ 17：15
  講師：ジ・アーキ総研　浜名寛自 氏（元旭化成建材勤務）
  演題：『微差は大差を呼ぶ』
- 懇親会（着席形式）17：45 ～ 19：15
  アトラクション：ソプラノ歌手　遠藤美和 氏
- 二次会　19：20 ～ 20：30

【エクスカーション】5 月 19 日（木）

- A コース：ゴルフツアー（定員：20 組　先着 80 名）
  JFE 瀬戸内海ゴルフ場にて
- B コース：観光ツアー（定員：先着 40 名）
  貸し切りバスで尾道 千光寺、日本遺産 鞆の浦を巡る

※新型コロナウイルスによる緊急事態対応要請などにより開催を変更する場合は、1 か月前までに改めてご案内します。

2021年度 合法木材・持続可能木材の供給認定事業者研修及び木材関連事業者のクリーンウッド法登録推進 セミナーを実施！

3 月 17 日（木）　北海道支部
京王プラザホテル札幌にて　参加 53 名
①「合法木材等の供給認定事業者研修会」
講師：日本合板商業組合 本部事務局 金井常務理事兼事務局長
②「クリーンウッド法の登録推進セミナー」
講師：公益財団法人 日本合板検査会 北海道検査所所長　渡部 春雄　氏

3 月 18 日（金）　東北支部（北東北）
ホテルメトロポリタン盛岡にて　参加 24 名
①「合法木材等の供給認定事業者研修会」
②「クリーンウッド法の登録推進セミナー」
講師：日本合板商業組合 本部事務局 金井常務理事兼事務局長

早川 勝 地区支部長

3 月 24 日（木）　山梨地区支部
アピオ甲府タワー館にて　参加 17 名
山梨地区支部 早川 勝 地区支部長の開会挨拶で始まりました。
①「合法木材等の供給認定事業者研修会」
講師：日本合板商業組合 本部事務局 金井常務理事兼事務局長
②「クリーンウッド法の登録推進セミナー」
講師：公益財団法人 日本合板検査会 専務理事　尾方 伸次 氏

jutec Group

変革への挑戦

今年は創業99年、
100周年は目前だ。
東京五輪という大きな節目が終わり、
コロナ禍もひと息ついて、
社会にとっても、我々にとっても
いよいよ変革（CHANGE）を起こす時が訪れた。
私たちには、先人達が築いた
99年の歴史（Legacy）がある。
忠誠心（Loyalty）を持って、
業務を続けることが
進化（Evolution）への近道であり、
それこそが「CHALLENGE（挑戦）」となる。
我々の目指す「未来への突破力」はそこにある。
記念すべき100周年、
時代の壁を突破して迎えよう。

ジューテックホールディングス株式会社
代表取締役社長　足立 建一郎

突破力

ジューテックグループ
www.jutec-hd.jp

ジューテックホールディングス株式会社　〒105-0012 東京都港区芝大門一丁目3番2号　TEL.03-6435-9100（代）　FAX.03-3433-1360
【関連会社】㈱ジューテック　㈱グリーンハウザー　イシモク・エモリ㈱　グッドハウザー㈱　㈱イワベニ　角野産業㈱　ジューテックホーム㈱
㈱JUTEC物流　オフィスオペレーション㈱　中部フローリング㈱　ジューテック秋田㈱

JK情報センター

2022(令和4)年4月～6月需要動向予測

●工務店・販売店による需要予測

2021年12月の新設住宅着工戸数が国土交通省より発表され、1～12月の累計は85万6,484戸（前年比105.0%）と5年ぶりに増加となった。利用関係別にみると、持家は前年比109.4%、貸家は同104.8%、分譲住宅は同101.5%となった。分譲住宅の内訳ではマンションは前年比93.9%だが一戸建が同107.9%と、持家を含めた戸建系が全体を押し上げた。

そのような中で2022年4～6月の需要動向予測調査がまとまった。工務店（工務店・その他建築会社）の需要予測はマイナス9.0ポイント、販売店の需要予測はマイナス13.0ポイントとなり、前回調査（2022年1～3月期）時に転じたプラスポイントから、再びマイナスポイントの結果となった。足元では持家が2021年12月に14ヵ月ぶりに前年から減少となったことや、1月からのコロナ感染再拡大の影響も要因と考えられる。エリア別では甲信越と中部エリアを除いたエリアがマイナスポイントとなっている。コロナ禍においても好調に推移してきた住宅市場だが、今後の動向に注視したい。

●主要メーカーによる販売予測

主要メーカーによる販売予測では、合板は減少予測が0%だが増加予測は前回から半減した。住設機器は減少予測が増加予測を上回り、前回のプラス14.8ポイントからマイナス4.0ポイントとなった。長期化する供給遅延の影響でマイナスに動いているメーカーの予測が窺える。

	増加予測	前年並予測	減少予測
合　板	41.6%	58.4%	0%
木質建材	50.0%	33.3%	16.7%
窯業・断熱	52.2%	43.5%	4.3%
住設機器	20.0%	56.0%	24.0%

●各種調査について

着工の先延ばしによる受注が残っている時期は、7月頃までが大勢を占め夏頃までの影響が現時点で窺える。資材の価格高騰については、価格転嫁が進んでいる先と進んでいない先で回答が割れている。メーカーの値上げも相次いで発表されており、価格への転嫁が急がれる。

「こどもみらい住宅支援事業」では、省エネ性能により補助額が設定されている新築住宅の層よりも、対象が子育て世帯・若者夫婦世帯に限定されていないリフォーム分野の期待が高い。

SNSの利用状況については、企業または個人アカウントを使って既に実施している企業が全体の3割になっている。SNSの特色である双方向性を活用した取り組みを行う企業は増えており、検討中の回答企業も含めれば今後益々の拡大が見込まれる。

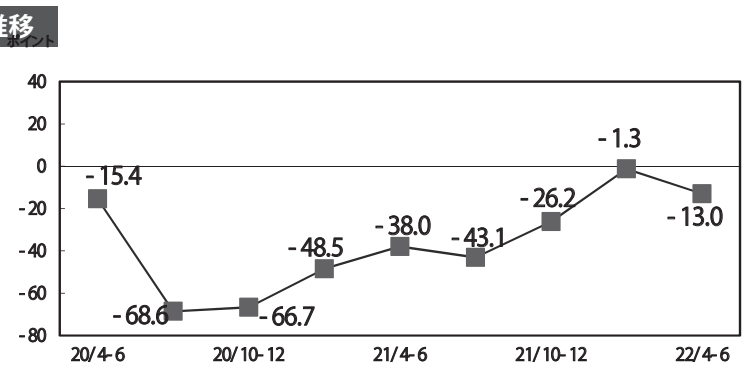
調査の時期と方法

この調査は2022（令和4）年1月下旬から2月上旬までを調査時点として、お取引先3000社にインターネットによる調査を行い回収したものを一括集計したものです。

※ JKHDグループ19社のお取引先にも調査依頼をしています。

販売店よる景気動向の推移

過去2年間の仕事量の見通しをポイントで表したグラフ。

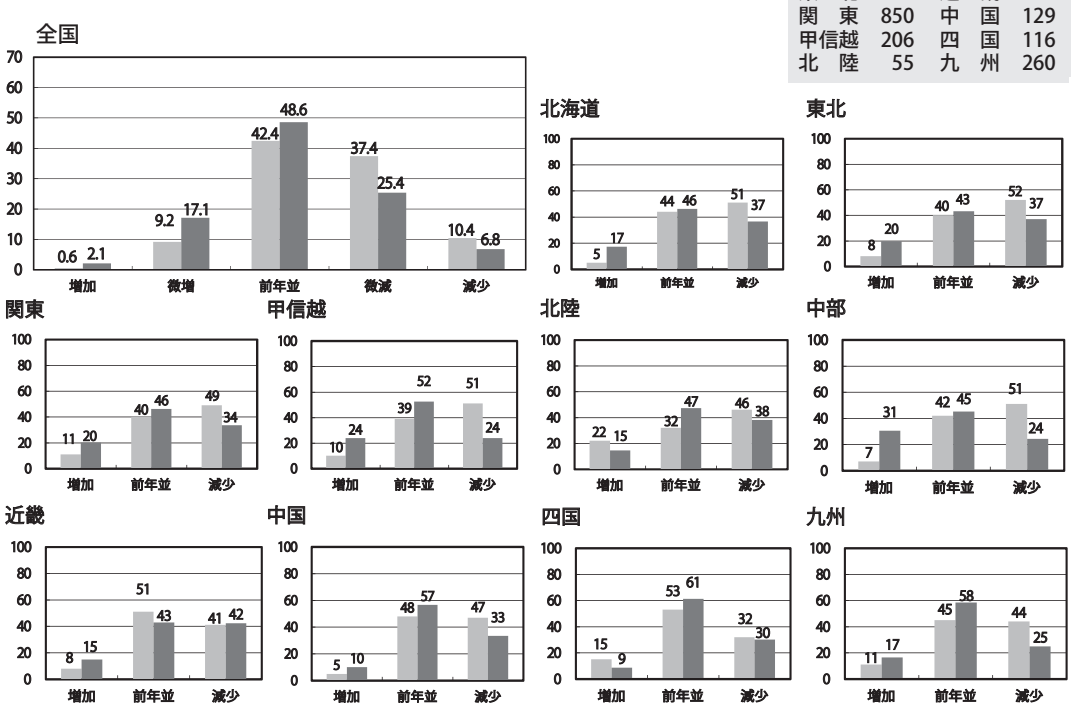


販売店よる地域別需要予測

「増加」「微増」「前年並」「微減」「減少」の中からお選び頂き、総回答数よりそれぞれの割合を算出しました。
単位は、「%」となります。

全国　回答数2,519　　2022年4月－6月　2021年4月－6月

有効回答数			
北海道	156	中　部	252
東　北	273	近　畿	222
関　東	850	中　国	129
甲信越	206	四　国	116
北　陸	55	九　州	260



KEY TEC™
株式会社 キーテック
www.key-tec.co.jp
本社　〒136-0082 東京都江東区新木場1-7-22 新木場タワー8F
TEL：03-5534-3741　FAX：03-5534-3750
木更津工場　〒292-0837 千葉県木更津市木材港15
TEL：0438-36-9311　FAX：0438-37-2102
山梨工場　〒409-2522 山梨県南巨摩郡身延町下山11371
TEL：0556-64-8223　FAX：0556-64-8224

チヨダ
共に挑み、明日を創る。
チヨダウーテ
マグプラス
MAG+ ボード

合板市況と今後の見通し

日本合板商業組合東京支部
東京都ベニヤ板問屋協同組合
新風会　猪爪　清和

概 要

2022 年 1 月の新設住宅着工戸数は 59,690 戸（前年同月比 2.1%増）で 11 カ月連続の増加となった。その内、木造住宅は 33,714 戸（前年同月比 0.9%増）で 9 カ月連続の増加となった。季節調整済年率換算値は 82.0 万戸で前月比 2.1%減、3 カ月連続の減少となる。

利用関係別では持家が 18,130 戸（前年同月比 5.6%減）で 2 カ月連続の減少、貸家は 23,083 戸（同比 16.6%増）で 11 カ月連続の増加、分譲 18,154 戸（同比 4.9%減）で 4 カ月ぶりの減少となった。分譲の内訳はマンションが 7,071 戸（同比 19.4%減）で 3 カ月ぶりの減少、戸建ては 11,003 戸（同比 7.7%増）と 9 カ月連続の増加となった。持家及び分譲住宅は減少したが、貸家が増加した為、全体で前年同月比 2.1%の増加となった。

国内・外合板の供給量

1 月の国内合板生産量は 25.0 万㎥（前月比 93.4%、前年同月比 99.0%）と発表された。その内､針葉樹合板の生産量は 24.4 万㎥(同比 93.6%､99.7%)となり、出荷量は 24.8 万㎥（同比 96.3%、99.5%）で在庫量は 9.1 万㎥となった。

輸入合板の 1 月度入荷量は 25.6 万㎥（前月比 110.2%、前年同月比 120.0%）となった。国別入荷量はマレーシアが 7.9 万㎥、インドネシアが 8.6 万㎥、中国が 6.3 万㎥となっている。

今後の見通し

国内針葉樹合板に関しては、ロシアのウクライナ侵攻に対する各制裁が始まっているが、針葉樹合板市場でも懸念が広がっている。国内合板メーカーでは現状ロシアからの輸入単板が欠かせない原材料になっているため、仮にロシア産カラ松単板の供給が止まるような事態になれば代替材の使用を余儀なくされる。しかし現状でも丸太の争奪戦が続く最中で全てをカバーする量の代替材を確保する事は難しい状況にあり、たとえ確保できても生産効率の低下は避けられない状態である。

輸入合板に関しては、インドネシアは数カ月順調な入荷量となった。普通合板系に関しては品不足も一服した状況であるが、現地価格は引き続き高値で推移している。マレーシアは現地雨季明けの兆しが見えてきた様子。3 月以降原木供給は若干改善し回復傾向になると思われるが、コロナ禍で国境をまたぐ移動が難しい中、ワーカーの不足やコンテナ問題は直ぐに改善できるものではない。生産量の急激な回復は望めない状況である。従って供給量が需要を下回る状態であり、現地価格の強含みがまだ続く見込みである。

2022 年度は 4 回の定期 WEB セミナーと 2 回の特別 WEB セミナーの開催を予定しています。

WEB セミナーの視聴申込の受付開始等は、改めてメールマガジンや時報でご案内します。

■ 定期 日合商 WEB セミナー

回	開催月	テーマ
1	7 月	迫る住宅災害対策 ～日本全国レジリエンス化～
2	9 月	住生活産業構造の変化　新たなサプライチェーン ウッドショック時の木材活用も入れ込む
3	11 月	技術革新 DX による流通事業者の事業承継・就業体制改善 ～ NEXT 流通事業者～
4	2023 年 2 月	住宅・リフォーム市場最前線　2023 年の業界動向予測
講師：清水英雄事務所株式会社 マネージングディレクター　清水 大悟 氏		

■ 日合商 特別 WEB セミナー

テーマ	開催予定月	講師
1.（仮）「住宅業界における最新の法的課題」	6 月初旬	弁護士法人匠総合法律事務所 弁護士　秋野卓生　氏
2.（仮）知らなかったでは済まされない！ インボイス制度の概要と対応策	6 月下旬	塚越税務会計事務所 公認会計士・税理士　塚越大紀　氏

★組合員・会員専用ページパスワードは 4 月 1 日から変更しています！

ID ▶ nichigosho　　パスワード▶ reiwa04（ゼロヨン）

2022 年 3 月 29 日現在

【グリーン購入法】に基づき 事業者新認定・期限更新した13 社

北関東	-0079	オカモト建商㈱	代表取締役	米山 雄大
東京	-0086- ⑤	早川住建㈱	代表取締役	早川 豪
中部日本	-0032- ⑤	㈱カメダ	代表取締役社長	亀田 光弘
北陸	-0085- ⑤	南陽吉久㈱	代表取締役社長	中村 正治
関西	-0074- ③	㈱サカグチ	代表取締役	阪口 泰造
四国	-0007- ⑤	ミロク商事㈱	代表取締役	井戸 清隆
四国	-0008- ⑤	大家建材㈱	代表取締役	大家 浩稔
九州	-0021- ⑤	髙千穂㈱	代表取締役	川井田 佳遠
九州	-0024- ⑤	松林商会	代表者	松林 武宏
九州	-0053- ③	㈱大和ハウジング	代表取締役	吉松 聡司

東京の合板卸売り価格（円）

※東京都ベニヤ板問屋協同組合、日本合板商業組合「市況通信」より
（注）1 車単位（10 トン）問屋売り価格・90 日手形（JAS 製品）

品目		3 月16 日	前週比	3 月23 日	前週比	3 月30 日	前週比	4 月6 日	前週比
ラワン JAS F ☆☆☆☆	2.3㎜ T2	820	+10	820	0	820	0	820	0
	4.0㎜ 〃	1,050	+20	1,050	0	1,060	+10	1,060	0
	5.5㎜ 〃	1,370	+20	1,370	0	1,380	+10	1,380	0
	9.0㎜ 〃	1,880	0	1,880	0	1,880	0	1,880	0
	12.0㎜ 〃	2,420	0	2,420	0	2,450	+30	2,450	0
針葉樹構造用	F ☆☆☆☆ 12㎜ C-D	1,800	0	1,800	0	1,800	0	1,900	+100
	F ☆☆☆☆ 24㎜ 実付	3,950	0	3,950	0	3,950	0	4,150	+200
	F ☆☆☆☆ 28㎜ 実付	4,500	0	4,500	0	4,500	0	4,750	+250
	F ☆☆☆☆ 9㎜ 3×10	2,600	+100	2,650	+50	2,650	0	2,800	+150
輸入・型枠用	12㎜ JAS 製品	1,950	0	1,950	0	1,980	+30	1,980	0
輸入・構造用	F☆☆☆☆12㎜ JAS 製品	2,080	0	2,080	0	2,100	+20	2,100	0

窓を考える会社 YKK ap®
YKK AP株式会社
http://www.ykkap.co.jp/

3月10日（木）関西支部
第23回懇親ゴルフ大会

茨木CCにて　参加28名

成績TOP5
（敬称略）
優勝 石本 勝範
2位 本田 高浩
3位 三輪 香
4位 久々山 大樹
5位 井伊 光裕

表彰式の一コマ

優勝した
石本勝範副理事長（左）と
丸敏幸支部長

日合商支部4月のスケジュール

支部	日程	内容	会場
関　西	4月21日（木）	第45回定時総会・講演会	神戸オリエンタルメリケンパーク
中部日本	4月22日（金）	第45回総会・講演会	名鉄グランドホテル
北　陸	4月27日（水） （2月16日開催から変更）	合法木材・持続可能木材の認定事業者及び木材関連事業者セミナー	金沢勤労者プラザ

日合商ホームページ　トピックスより抜粋

トピックスをご確認ください。

4月　7日　お知らせ
令和4年度JAS構造材実証支援事業の事業内容（一次募集等）公開のご案内
3月31日　官公庁からのお知らせ
現下の情勢を踏まえたサイバーセキュリティ対策の強化について（改めての注意喚起）
3月31日　官公庁からのお知らせ
林野庁から「ウクライナ情勢に関する外国為替及び外国貿易法に基づく措置について」の周知依頼
3月30日　官公庁からのお知らせ
第二回合板需給懇談会 / 林野庁からの情報提供資料（ロシアからの木材輸入動向など）のご案内
3月30日　官公庁からのお知らせ
2023（令和5）年度卒業・修了予定者等の就職・採用活動に関する要請について
3月16日　官公庁からのお知らせ
林野庁発行「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート」3月号公表のご案内

2021年3月3日（木）に日本合板工業組合連合会・日本木材輸入協会・日本合板商業組合による「2021年度 第四回合板需給検討委員会」を、林野庁木材利用課ご陪席のもと合板会館（日合商会議室）において開催。合板の短期需給見通しの検討結果は林野庁の木材行政推進のための情報として提供しました。

合板　短期需給見通し

（Unit：1,000㎥）

		供給			需要（出荷）			期末在庫		
		計	国内製造	輸入合板	計	国内製造	輸入合板	合計	国内製造	輸入合板
2021(R3)10-12	前回予測	(1,456)	(830)	(626)	(1,450)	(830)	(620)	(986.550)	(55.809)	(930.741)
	実績	1,549.499	834.459	715.040	1,548.565	834.045	714.520	983.887	56.223	927.664
計		5,843.000	3,215.203	2,627.330	5,883.000	3,255.556	2,627.444			
2022(R4) 1-3	前回予測	(1,394)	(810)	(606)	(1,430)	(810)	(620)	(972.550)	(55.809)	(916.741)
	見込み	1,518.000	810.000	708.000	1,440.000	810.000	630.000	1,061.887	56.223	1,005.664
4-6	前回予測	(1,425)	(820)	(605)	(1,490)	(800)	(600)	(997.550)	(75.809)	(922)
	見通し	1,450.000	820.000	630.000	1,420.000	800.000	620.000	1,091.887	76.223	1,015.664
7-9	見通し	1,480.000	830.000	650.000	1,480.000	830.000	650.000	1,091.887	76.223	1,015.664

国産合板の需要

1. 令和3年第4四半期の実績について　今回（834千㎥）
（実績数量の背景、前年同期との比較等）
生産のコストアップ・原木入手難のなか、流通は在庫補充の見通しが立たたず引き合いへの対応で手いっぱいの状況のため前年比0.9%の減少見込みをたてたが、前年比0.4%の減少結果であった。
2. 令和4年第1四半期の見込みについて　今回（810千㎥）
（見込み作成の根拠、前年同期との比較等）
新設住宅着工戸数は、前期までの好調が継続してきたが持家住宅において様子見の流れとなった。合板以外の住宅資材の納期遅延もあり、資材供給状況に沿った需要数への制約はあるものの、プレカット等の加工計画は順調に推移しているものと思われる。
結果、前年比3.3%の増加となる見込み。
3. 令和4年第2四半期の見通しについて　今回（800千㎥）
（見通し作成の根拠）
5月連休を中心に働き方改革による休暇の定着もすすみ、生産の減少に合わせ、現場の年度末仕上げから一服状態が予想される。
前四半期の持家申請数の見合わせの状況から需要期に向かう立ち上がりが少し後ずれする見通し。
（前年同期との差異について）
結果、前年比3.1%の減少見通しとなる。
4. 令和4年第3四半期の見通しについて　今回（830千㎥）
（見通し作成の根拠）
ウクライナ情勢に関わる合板原料としてのロシア材単板の供給不安がどの程度影響するかは、現時点では不透明なため予測外とする。季節は需要期に向かう中、回復の兆しが出てくると推測する。
（前年同期との差異について）
結果、2.3%の増加見通しとなる。

輸入合板の需要

1. 令和3年第4四半期の実績について　今回（715千㎥）
（実績数量の背景、前年同期との比較等）
アイテムによる需給のアンバランスな状況や現地生産制限も見られることから、在庫確保の動きは強く、前年比19.4%の大幅増加見込をたてたが、結果、前年比37.6%の大幅な増加となった。
2. 令和4年第1四半期の見込みについて　今回（630千㎥）
（見込み作成の根拠、前年同期との比較等）
国内針葉樹合板の納期遅延など不足状況から、代替需要は急激に衰えることはなく、緩やかな傾向が継続する見込み。
結果、前年比6.1%の増加の見込みとなる。
3. 令和4年第2四半期の見通しについて　今回（620千㎥）
（見通し作成の根拠）
5月連休を中心に働き方改革による休暇の定着もすすみ、現場の年度末仕上げから一服状態が予想される。
前四半期の持家申請数の見合わせの状況から需要期に向かう立ち上がりが少し後ずれする見通し。
（前年同期との差異について）
結果、前年比1.9%の減少の見通しとなった。
4. 令和4年第3四半期の見通しについて　今回（650千㎥）
（見通し作成の根拠）
需要期に向かい、ほぼ前年に近い住宅着工の水準に回復すると見積もれば、前年平均水準の需要量は出てくるものと予測される。
（前年同期との差異について）
結果、前年比5.4%の減少の見通しとなった。

私たちが
世界のために実現出来ること。
地球と
暮らしを考える。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

JKホールディングスグループでは、
持続可能な社会構築を目指す
SDGs参画を通して、現代社会に
蔓延する多くの課題解決に向け取り組みます。
地球資源を暮らしに活かす企業だからこそ、地球の未来を
想い、人、自然、そして経済の発展に貢献します。

JKホールディングス株式会社

東京都江東区新木場1-7-22 TEL.03-5534-3800　https://www.jkhd.co.jp